

「 論理・表現 I 」	教科	英語	単位数	2 単位
	学科、学年、組	全学科、 2 学年、 全組		
使用教科書	「 VISTA Logic and Expression I 」 (三省堂)			
副教材等	「 英語マスターノート 」 (増進堂)			

1 科目のねらい (目標)

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次に学習した文法事項を復習すると同時に、簡単な英文の内容を把握するために、必要な語法や文法を定着させる。またその文法などを用いて会話に使えるようにする。 ・ 社会人として必要な基本的な英語の表現を学習し、英語で簡単に自己紹介できるようにする。 ・ 外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする能力を育成する。
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。
 評価の規準 A：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	40%	・ 定期考査
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	30%	・ 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題 ・ 授業態度 ・ パフォーマンステスト ・ 小テスト

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介をする。 ・ 好きな歴史上の人物について紹介する。 ・ 今していることや過去にしていたこと、今までに経験したことについて述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のことについて簡単な英語で表現できるようにする。 ・ 日常生活に関する内容の英文や会話を聞き取ることができるようになる。 ・ クラスメイトや外国人講師との会話を通して、英語で表現しようとする態度を育成する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りのものについて比較し、違いを述べる。 ・ 環境問題について調べ、意見を述べる。 ・ になりたい職業について、自分の考えを表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近なことや身の回りのものについて英語で表現できるようにする。 ・ 話し手や書き手が伝えたい内容を理解し、英語で質問したり答えたりできるようにする。 ・ 学習した文法や表現を使って、自己表現できるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界遺産について紹介する。 ・ 図表や人の様子について説明する。 ・ 日本文化について調べ、紹介する。 ・ 国際協力について考え、意見や感想を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活に関する話題について理解し、それについての意見や考えを英語で表現できるようにする。 ・ 与えられたテーマについて積極的に調べ、発表できるようにする。 ・ クラスメイトと考えを共有したり話し合うことでお互いの理解を深め、相手の言うことを理解し自分の意見を相手に伝えようとする態度を養う。